

【鹿児島県瀬戸内町】 瀬戸内町の取組



鹿児島県大島郡

瀬戸内町

【人口】 (R6.3月現在)

総人口	: 8,156名
本島側	: 7,032名
加計呂麻島	: 989名
請島	: 87名
与路島	: 48名

【面積】

総面積	: 239.65km ²
本島側	: 139.57km ²
加計呂麻島	: 77.39km ²
請島	: 13.34km ²
与路島	: 9.35km ²



奄美・沖縄世界自然遺産
AMAMI・OKINAWA World Natural Heritage

【鹿児島県瀬戸内町】 瀬戸内町の取組

■ 瀬戸内町の概況

奄美大島最南端に位置する瀬戸内町は、加計呂麻島・請島・与路島の有人離島3島を有し、約240km²の行政区域内に56の集落が点在している。

広範囲な行政区域ではあるが、支所などの機能を持つ公的施設がなく、役場の所在する奄美大島本島側に渡るには最も遠い集落である与路島からは、片道1時間20分、加計呂麻島のフェリー発着場（瀬相港）からは約30分をかけた航路での移動また、役場の所在する本島側においても最も遠い集落（西古見集落）からは、片道約1時間の移動を強いられ、日常生活も大変不便な現状がある。

また人口減少や高齢化に伴う地域コミュニティ活力の低下もみられ、存続の危機に直面する集落（人口1桁の集落が8集落）も存在する。



【鹿児島県瀬戸内町】 取組全体のBPR

1. プロジェクト概要

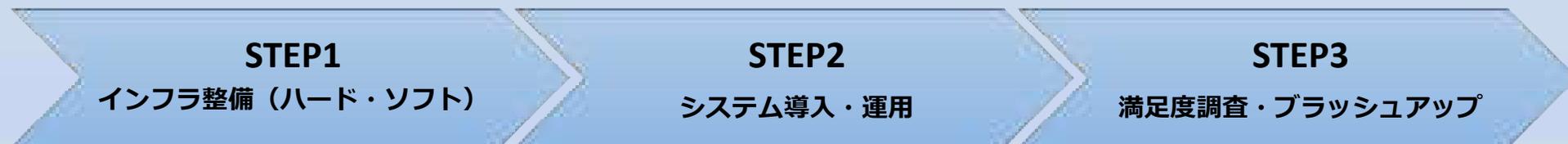
町民・行政一体となったDX推進への意識醸成や、システムの浸透による住民サービスの強化及び業務効率化を図る。また、将来に向け、町内の多様な場所で公的業務対応可能とすることによるオムニチャンネル化の推進や、カスタマージャーニー調査・分析による住民視点での空間づくり、BPR分析結果を踏まえた業務効率化等によるバックヤード改革も実施。「すべての町民が平等なデジタル化の恩恵を享受できる社会の実現」を目指し取り組んでいく。

2. プロジェクトの方向性

町全体でデジタル化を浸透させやすい環境を構築するため、プロジェクト推進体制（スライド4）の強化や、町民全体を対象としたデジタルへの意識醸成が図られる施策、庁舎内外でのインターネット環境整備を実施。

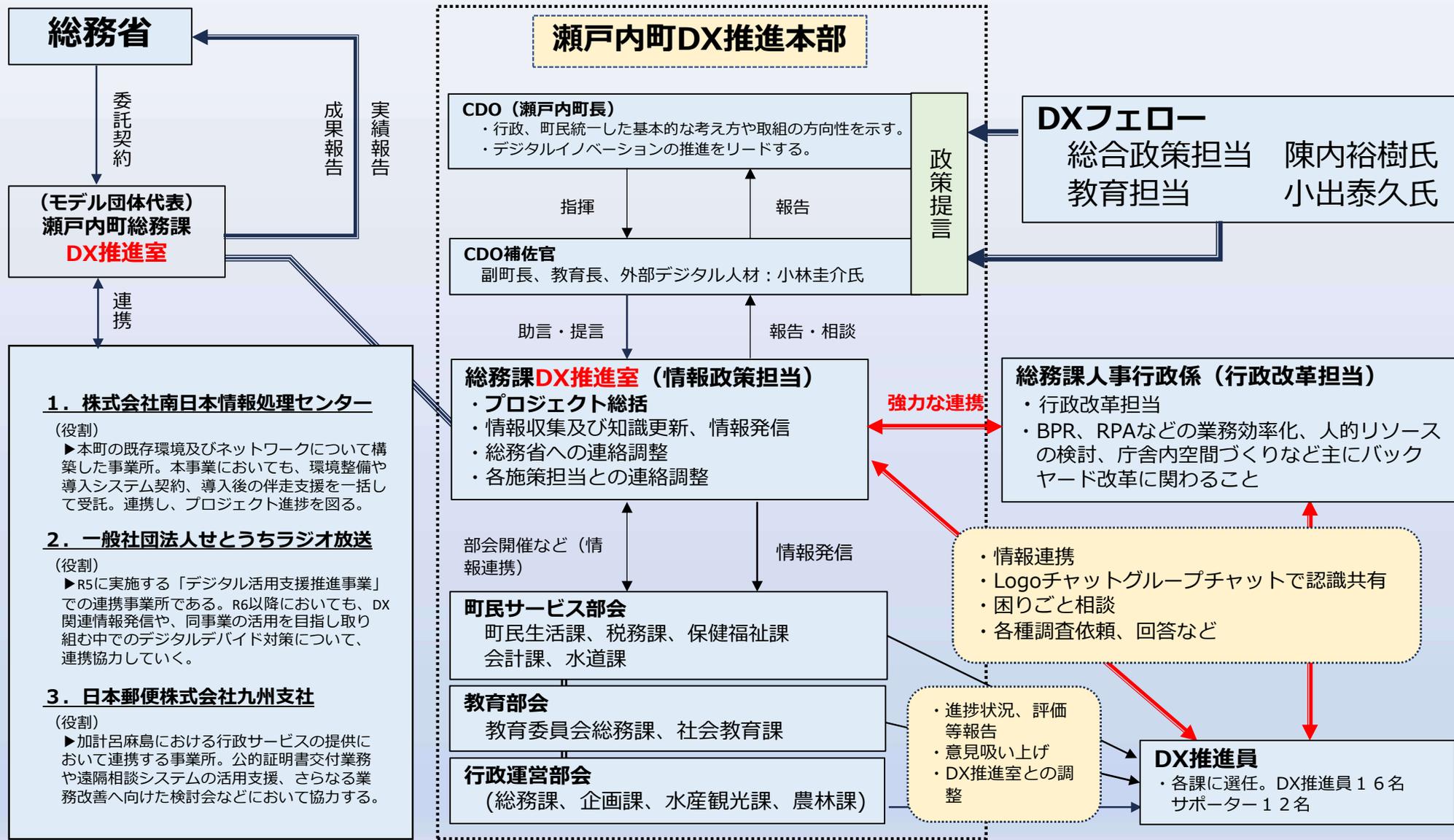
その中で、業務における課題の特定や、町民からのニーズを把握し、住民利便性・業務効率化が向上するシステムの選定・導入を行う。同時に、本町の広範囲に及ぶ行政区域におけるオムニチャンネル化拡大に取り組む。

また、導入したシステムについても、利用者への満足度調査やカスタマージャーニー調査・分析、ガバメイツPITを活用した業務の再構築（BPR）、PDCAサイクルの徹底による施策のブラッシュアップを実施することで、更なる住民利便性の向上、業務効率化による職員負担軽減、窓口空間の最適な活用を図っていく。



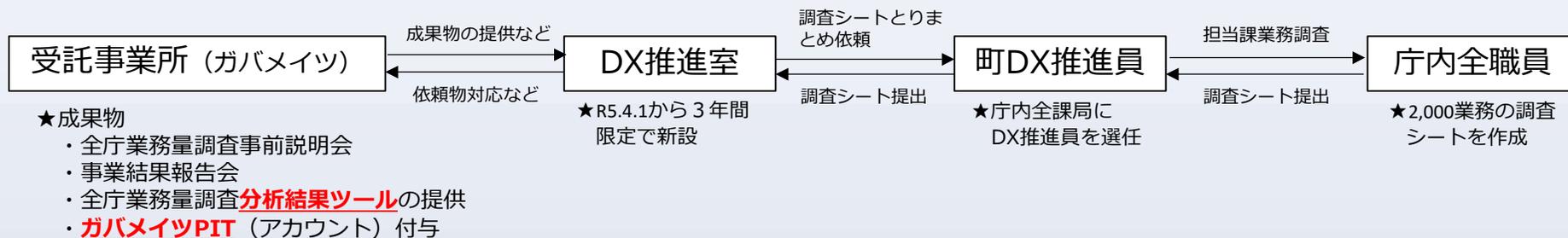
【鹿児島県瀬戸内町】取組全体のBPR

3. プロジェクト推進体制

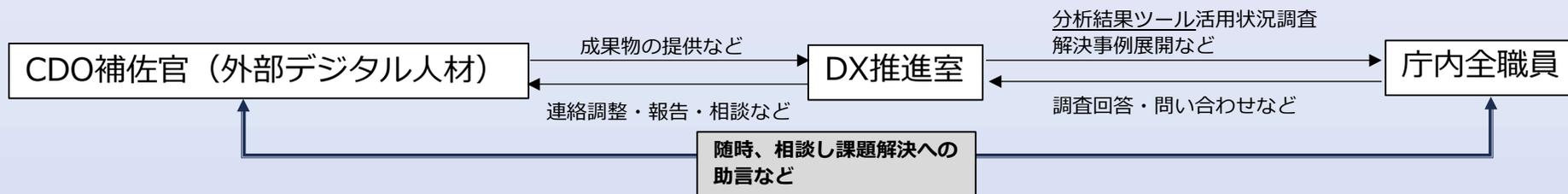


【鹿児島県瀬戸内町】 取組全体のBPR

4. 令和5年5～8月BPR全庁業務量調査を実施



5. 令和5年8月～BPR全庁業務量調査分析結果ツールを活用し、各業務における課題の特定作業を開始



6. 令和6年4月～当プロジェクトにおけるBPRの取組

